

中学地理プリント（過去問類似）

東北地方

名前

得点

/9

問1 東北地方の各県の農業産出額を比較した統計において、東北地方の北東部に位置する広大な面積を持つある県は、畜産の産出額が1400億円を超えており、米や果実の産出額を大きく上回るという特徴があります。この県はどこですか。（2017年 兵庫公立入試 類似）

1. 岩手県 2. 青森県 3. 秋田県 4. 山形県

問2 東北地方の交通網について述べた文として、福島県の地理的特徴をふまえて正しい説明となっているものを選びなさい。（2022年 京都公立入試 類似）

1. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。
2. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。
3. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。
4. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。

問3 山形県では、さくらんぼやりんご、ぶどうなどの果樹栽培において、単に市場へ出荷するだけでなく、消費者が直接現地を訪れて収穫を楽しむ形態が広く普及しています。年間の売上金額が6億円を超える規模に成長している、このような農業の形態を何と呼びますか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 観光農園 2. 促成栽培 3. 契約栽培 4. 施設園芸農業

問4 東北地方の中央部を南北に貫く奥羽山脈が、地域の気候に与えている影響についての説明として最も適切なものを選んでください。（2022年 埼玉公立入試 類似）

1. 冬の湿った季節風を遮ること
で、日本海側に大雪をもたらす、太平洋側を乾燥させる要因となっている。
2. 夏の冷たく湿った北東風（やませ）を遮ることで、日本海側における冷害の発生を完全に防いでいる。
3. 標高が非常に高いため、山脈の周辺地域は一年中熱帯収束帯の影響を受けやすくなっている。
4. 山脈が風を遮らない構造であるため、冬の太平洋側でも日本海側と同様に連日雪が降り続く。

問5 1993年の岩手県宮古市の統計では、平年と比較して夏場の日照時間が大幅に短く、平均気温も著しく低くなったことで、稲作などに深刻な被害が出ました。このような気象現象とその要因となる風の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 冷害 — オホーツク海高気圧から吹く冷涼な北東風の「やませ」
2. 干害 — 小笠原高気圧から吹く高温乾燥な南東風の季節風
3. 塩害 — 台風によって海から吹き込む湿った南風
4. 冷害 — シベリア高気圧から吹き出す寒冷な北西の季節風

問6 東北地方の中央部を南北に約500kmにわたって走り、日本で最も長い距離を持つ山脈の名称として正しいものを選んでください。（2022年 埼玉公立入試 類似）

1. 奥羽山脈 2. 出羽山地 3. 北上高地 4. 越後山脈

問7 宮城県の県庁所在地である仙台市のように、都道府県名と県庁所在地の都市名が異なる自治体があります。これと同じ条件にあてはまる「県名と県庁所在地名」の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 香川県 — 高松市 2. 新潟県 — 新潟市 3. 佐賀県 — 佐賀市 4. 青森県 — 青森市

問8 東北地方の三陸海岸沖は、北から流れてくる寒流と南から流れてくる暖流がぶつかり合うことで、世界的な漁場となっています。この三陸海岸沖を北から南へと流れる、栄養分が豊富な寒流の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 広島公立入試 類似）

1. 千島海流（親潮） 2. 対馬海流 3. リマン海流 4. 日本海流（黒潮）

問9 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、稲の生育が妨げられることがあります。このような自然条件に対応するために行われてきた、農業の取り組みとして最も適切な説明はどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。
2. 温暖な冬の気候を活かした「二毛作」を推進し、夏の収穫不足を補うために麦の栽培面積を拡大した。
3. 大規模な「干拓」によって農地を広げ、冷害の影響を分散させるために、品質よりも生産量を重視した安価な品種を増産した。
4. 夏に吹く乾燥した季節風を利用して、水田から畑作へと大規模な転換を行い、ブランド野菜の生産に特化させた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 岩手県	東北地方の北東部に位置し、日本で2番目に広い面積を持つ岩手県は、その広大な土地を活かした畜産業が非常に盛んです。一般的に東北地方は米の産出額が高い県が多いですが、岩手県は肉用牛や乳用牛、養鶏などの畜産が農業産出額の大きな割合を占めている点が、他県と比較した際の大きな識別ポイントとなります。
問2	答え 1 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。	福島県は東北地方の南端に位置し、古くから関東と東北を結ぶ交通の拠点として発展してきました。日本で最も長い国道である国道4号は、東京都から青森県までを結んでおり、福島県内を南北に通過することで、東北地方全体の経済や生活を支える重要な役割を果たしています。
問3	答え 1 観光農園	生産者が収穫したものを出荷するだけでなく、消費者に収穫体験というサービスを提供することで、農産物に付加価値をつけています。山形県では、さくらんぼから始まり、ぶどう、りんご、なしと収穫時期の異なる複数の果物を組み合わせることで、長期間にわたって観光客を呼び込み、高い収益を上げる仕組みを構築しています。
問4	答え 1 冬の湿った季節風を遮ることで、日本海側に大雪をもたらす、太平洋側を乾燥させる要因となっている。	奥羽山脈は気候を分ける壁の役割を果たしています。冬には日本海からの湿った季節風が山脈にぶつかるため、日本海側で多くの雪が降ります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は乾燥しているため、太平洋側では晴天が多くなります。また、夏に吹く「やませ」については、主に太平洋側に冷害をもたらす要因となります。
問5	答え 1 冷害 — オホーツク海高気圧から吹く冷涼な北東風の「やませ」	東北地方の太平洋側では、初夏から夏にかけてオホーツク海高気圧から冷涼な北東風である「やませ」が吹き込むことがあります。これが長期間続くと、気温が上がらず日照時間も不足するため、農作物の生育が妨げられる「冷害」が発生します。1993年は記録的な冷夏となり、東北地方を中心に大きな被害が出ました。
問6	答え 1 奥羽山脈	東北地方の「脊梁（せきりょう）」とも呼ばれ、青森県から福島県を経て栃木県境まで連なる日本最長の山脈です。西側にある出羽山地や、東側にある北上高地と位置関係を区別して覚える必要があります。
問7	答え 1 香川県 — 高松市	宮城県の県庁所在地が仙台市であるように、香川県の県庁所在地は高松市であり、県名と都市名が異なります。一方、新潟県、佐賀県、青森県は、いずれも県名と県庁所在地名が同一の名称となっています。中学地理では、このように名称が異なる県庁所在地を正確に把握しておくことが重要です。
問8	答え 1 千島海流（親潮）	東北地方の東側に位置する三陸海岸の沖合では、北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）と、南から北上してくる暖流の日本海流（黒潮）が合流します。この寒流はプランクトンを豊富に含んでおり、魚を育てる「親」のような役割を果たすことから親潮とも呼ばれます。
問9	答え 1 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。	東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹くことで、気温が上がらず作物が育たない冷害が度々発生してきました。これに対し、農業試験場などで寒さに強い品種の研究が進められた結果、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のように味も良く寒さにも強い品種が誕生しました。これらは「銘柄米」としてブランド化され、市場価値を高めることで地域農業の安定と発展に寄与しています。